令和６年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立　宍道小学校　】

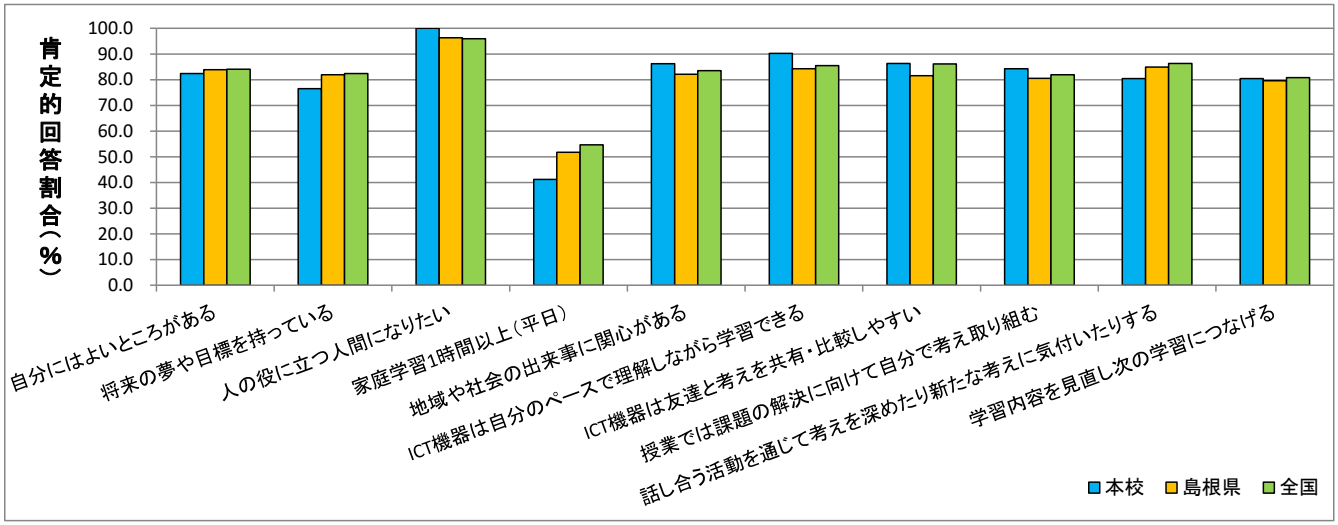
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対　策(・)
国語	○必要な情報を読み取ることはできている。 ○自分の思いや考えを書くことことはできている。 ●読み取った情報を整理して書くことができていない。 ●前学年までの漢字の書き取りや主語・述語の関係などの基本的な知識・技能が十分に定着していない。	・読書時間を増やし、語彙力を鍛える。 ・授業の中で、読み取った情報をもとに、考えをまとめる練習を行う。特に宍道小学校で独自に行っている「記事をキャッチ」という新聞に書いてある内容をまとめ、考えたことを書く活動などに力を入れて取り組む。 ・前学年までに学習した漢字を積極的に使ったり、日々の書く活動で書ける漢字は書いたりする指導を続けたり、国語の授業で主語・述語や修飾語などの関係を文章の中で確認したりする。
算数	○資料の読み取りに関する問題はできている。 ●図形に関する基本的な知識が十分に定着していない。 ●記述式の問題では、説明が不十分である誤答が多い。	・定着が不十分な領域に関する復習問題を計算会などで取り扱い、継続的に取り組む。特に図形分野では、前学年までに学習した内容の復習を単元の導入で丁寧に行うなど、単元構成に配慮する。 ・授業の中で、自分の考えを伝える場を繰り返し設定し、図や式などを用いて相手に分かりやすく説明する力をつける。1度の説明では伝わりづらい場面を取り挙げ、どの部分を付け加えれば他者に伝わるのかなどを確認できるようにする。

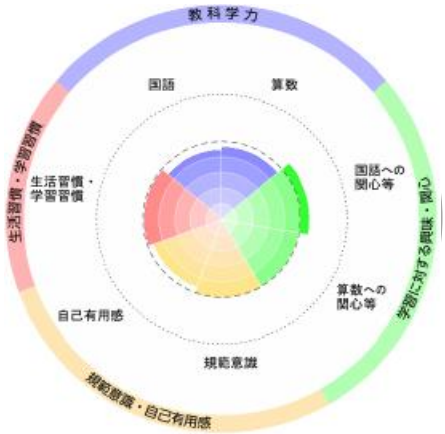
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対　策(・)
質問紙	○「自分にはよいところがある」の項目で肯定的な回答が多い。 ●「将来の夢や目標を持っている」の項目で肯定的な回答が少ない。 ●家庭での学習時間と読書時間が少ない。	・家庭との連携(自学強化週間などの設定)とその評価を行う。 ・各教科の学習内容にキャリア教育の視点を取り入れ、学びと将来の職業生活との関連性を意識させる。 ・家庭での読書時間を増やすために、学級だよりや学年だより等で、家庭へ読書の必要性やおすすめの本などの発信を行う。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

自分の考えを分かりやすく説明する力を伸ばす。

【受検者数】

51 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。